

「富山マラソン2019」の開催結果について

1 大会参加状況等

①ランナー参加状況等

(人)

区分	定員	申込者	出走者	完走者	完走率	県内：県外：国外 (申込者ベース)	
マ ラ ソ ン	2019大会	13,000	14,778	13,186	12,593	95.5%	9,379：5,189：210 (63.5%：35.1%：1.4%)
	うち県内		9,379	8,507	8,051	94.6%	
	2018大会	12,000	14,167	12,711	12,255	96.4%	8,913：5,128：126 (62.9%：36.2%：0.9%)
	うち県内		8,913	8,114	7,754	95.6%	
併 設	車いす	30	18	12	10	83.3%	1,082：118：0 (90.2%：9.8%：0%)
	ジョギング	1,000	1,182	1,038	1,037	99.9%	
	計	1,030	1,200	1,050	1,047	99.7%	
合 計	14,030	15,978	14,236	13,640	95.8%	10,461：5,307：210 (65.5%：33.2%：1.3%)	

<フルマラソン県外申込者の内訳>

(人)

大会	人数	内 訳
県外	2019	5,189 ①石川 893、②東京 846、③愛知 592、④神奈川 377、⑤大阪 339 他 41 都道府県
	2018	5,128 ①東京 837、②石川 805、③愛知 612、④神奈川 377、⑤大阪 361 他 40 都道府県
国外	2019	210 ①台湾 74、②香港 60、③中国 18、④シンガポール 14 他 14 の国と地域
	2018	126 ①香港 38、②台湾 33、③中国 17、④アメリカ 5 他 12 の国と地域

②ボランティア参加人数：3,393人(2018大会：3,363人)

内訳	富山市 自治会	高岡市 自治会	射水市 自治会	企業	学校	救護	その他 団体	個人
人数	300	437	405	689	835	331	70	326

③スタッフ参加人数：1,607人(2018大会：1,690人)

内訳	県職員	市職員等	警察	陸上競技協会	その他
人数	749	419	218	188	33

④救護情報

区分	大会	件数	症 状
病院への搬送	2019	4	低体温(2)、脱水症(1)、その他(1)
	2018	9	低体温(4)、脱水症(2)、その他(3)
救護所来所件数	2019	394	アイシング(91)、テーピング(49)、脱水(2)ほか
	2018	309	テーピング(97)、アイシング(37)、脱水(2)ほか

2 大会日程等

①大会日程 内 容	日時・場所等
ランナー受付 富山マラソン EXP02019	10/26(土) 10:00~20:00 富山市総合体育館第一アリーナ及び親水広場 (出展数22、来場者約2.3万人)
マラソン 併設レース	高岡会場 10/27(日) 8:40 セレモニー 8:50 車いすレーススタート① 8:55 車いすレーススタート② 9:00 フルマラソンスタート
	射水会場 10/27(日) 8:15 セレモニー 8:30 ジョギングの部スタート



車いすレース



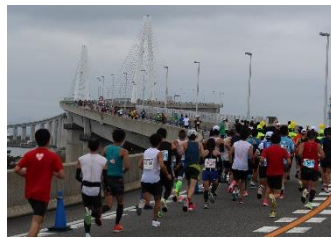
フルマラソンスタート

② コース沿道の様子

- ・午後はいにくの雨となったが、最高気温は16.5℃となり、完走率は昨年度をやや下回ったものの95.5%と依然として高く、多くのランナーに完走の感動を味わっていただいた。
- ・昨年に引き続き、富山大学放送研究会の皆さんの協力を得て、36km付近の折返し地点でランニングソングを放送したところ、励まされたという声が多く聞かれた。
- ・「ますずし」や富富富を使った「白えび天むす」など、富山ならではの「食」によるおもてなしが好評であった。また、御車山や新湊曳山はもとより、令和にちなんだ万葉衣装による応援や獅子舞・和太鼓など伝統芸能等を交えた多数の応援イベントが繰り広げられ、大会を盛り上げた。



高岡大仏



新湊大橋とランナー



給食（白エビ天むす）



沿道応援

③ 表彰式

(1) 車いすレース 9:50～（高岡市役所前ステージ）

(2) フルマラソン 13:00～（富岩運河環水公園 親水広場特設ステージ）

男子優勝：須河 宏紀 選手 2時間22分43秒

女子優勝：廣瀬 光子 選手 2時間46分06秒

3 大会に対する評価・意見等

○ランナー

- ・時折雨が降る中での開催となったが、富山ならではの給食が食べられたり、景観の良い新湊大橋を走れたり、運営がしっかりしている良い大会。県外から初めて参加したが、また富山へ来たいと思うきっかけになった。
- ・5年連続で参加しているが、毎年沿道の方々やボランティアの皆さま、子どもたちの熱い応援に励まされている。雨が降る寒い中で、感謝しかない。
- ・次の給水や給食、トイレまでの距離表示やサインがある大会ははじめて。細かいところまで行き届いていると感じた。
- ・30～35kmのきついところで、田園風景が続くのが辛い。

○ボランティア

- ・大会ごとに問題点を検討され、改善されている。非常に長い時間の活動となるため、イスやプラカードの利用等、ご一考いただきたい。次回も参加したい。（フィニッシュエリア担当）
- ・自治会のボランティアは慣れている方が多く、また、事前の沿道対策もなされており年々トラブルも減ってきている。（走路員）

4 その他企画 等

① 外国人ランナーの増加策

・香港プロモーション(H31.2.16～2.20)

県国際観光課の香港観光プロモーションにあわせ、外国人の参加者増加のため事務局員が出向き、香港の旅行会社等へ商談を行った。

・各国際イベントでのブース出展

ア. JET 世界まつり 2019(H31.2.17 富山国際会議場)

イ. 2019 日台観光サミット in 富山(R1.5.23～24 ANA クラウンプラザホテル富山)

ウ. 「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会 in 富山(R1.10.16～20 ANA クラウンプラザホテル富山)

・中華航空とのタイアップ実施

富山ー台北便を運航する中華航空とタイアップし、中華航空及び日本旅行情報局のホームページ・Facebook において、富山マラソンの告知・抽選イベント(5名を富山マラソンへ無料招待)の掲載を行った。

・台湾菊島澎湖跨海マラソンとの交流

ア. 友好提携協定の締結(R1.5.24)

富山マラソン側:実行委員会会長 石井 隆一

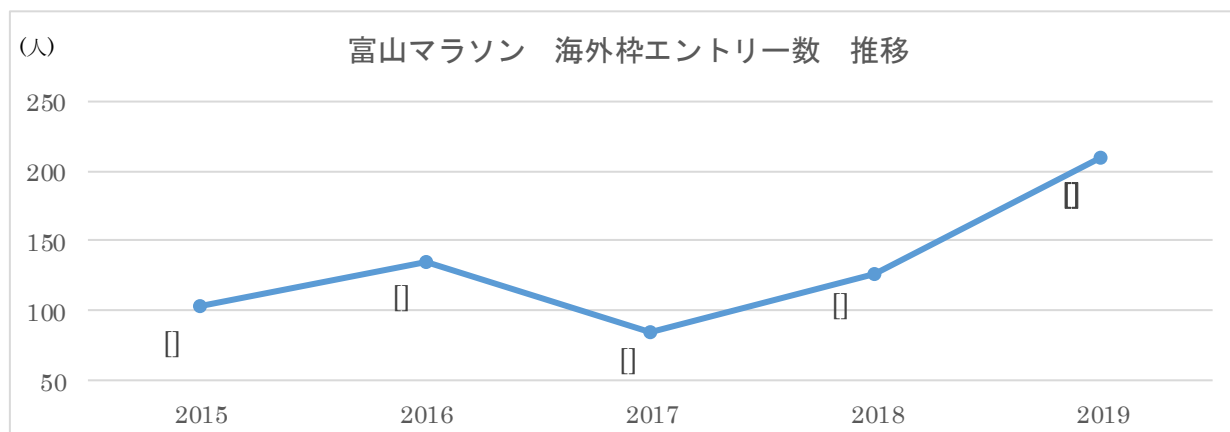
菊島澎湖跨海マラソン側:澎湖県探索未来発展協会理事長 張 弘光

台湾側立会人:台湾交通部観光局局長 周 永暉

イ. 台湾菊島澎湖跨海マラソンへ交流ランナーの派遣(R1.11.3)

富山マラソンでペースランナーを務めた3名と事務局員1名が参加し、このうちフルマラソン男子の部で宮崎 忠勝さんが2時間 58 分 7 秒で優勝した。

⇒これらの取組みにより、海外枠のエントリー数が過去最多(210名)となった。



日台観光サミットでの
ブース出展



富山マラソン・菊島澎湖跨海マラソン
友好提携協定の締結



菊島澎湖跨海マラソンで優勝した
宮崎 忠勝さんと周局長

② 5回大会記念企画の実施

- ・富山マラソン EXPO2019 における記念ブースの設置
- ・5回連続完走ランナーへ記念品の贈呈
- ・「555」の順位がついたランナーへ「富山 GoGo 賞」の贈呈



5回大会記念ブース



富山 GoGo 賞

③ 射水市内折り返し部分の対応策

- ・折り返し距離の短縮(800m)
- ・沿道応援イベントの設置

応援大使のぶらっくすわんをはじめ、いそどり錬磨、Chulip や大会ゲストがハイタッチなどでランナーを元気づけた。



④ 飲食店等とのタイアップ事業

- ・ランナーおもてなしキャンペーン(送迎付き入浴券+お買物券+交通券のセット販売)

昨年に引き続き、飲食関係組合と連携しながら、ランナー特典提供協力店を募集し、ランナーおもてなしキャンペーン(セット販売)を実施。フィニッシュ後は送迎バスで会場付近の入浴施設を活用し、今年は新たに富山軌道線や路線バスで使用できる交通券もセットにし販売した。

⑤ 写真コンテストの実施

- ・「富山マラソン 2019 写真コンテスト」

昨年に引き続き、富山マラソン 2019 を題材として撮影された作品を募集した。
入賞作品を北日本新聞及び富山マラソンのホームページに掲載。

⑥ その他

- ・「富山3プロ ダンスフェスティバル」の実施

フルマラソン表彰式終了後、親水広場のステージにて、県内の3つのプロスポーツチーム(富山グラウジーズ「G.O.W」、カターレ富山「Leap-Blue」、富山 GRN サンダーバース「チアティーズ」)がパフォーマンスを披露。

